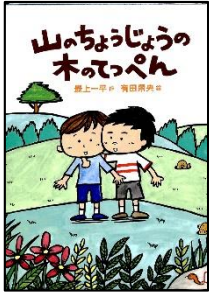


第66回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

江南市立図書館では、少しでも多くの人に読んでもらうため、6月1日～8月31日の間、課題図書の貸出期間が1週間のみとなります。延長はできません。ご協力をお願いいたします。

《 小学校低学年（1・2年生）の部 》 ※貸出中のときは、予約をしてお待ちください。



K913モ 『山のちようじょうの木てっぺん』
最上一平/作 有田奈央/絵
新日本出版社

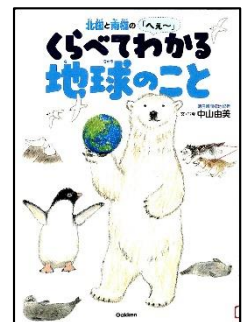
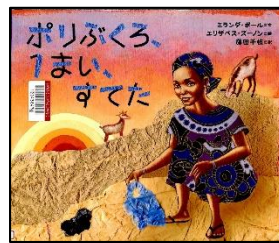
にしやんのところのいぬ・ごんすけがしにそいで、にしやんはげんきがありません。ごんすけはひやくさいぐらいのおじいさんいぬ。しぬのはこわいけれど、どうやってしぬのか、いがらしくんはみてみたいいきもして…。

Eオ 『おれ、よびだしになる』
中川ひろたか/文
石川えりこ/絵 アリス館
ちいさいころからすもうがすきだったぼくは、ちゅうがくをそうぎょうすると「よびだし」になった。よびあげ、たいこ、どひょうづくりなどをせんぱいにおしえてもらい、やがて、ぼくのはつどひょうのひがやってきて…。おおすもうのせかいにとびこんだしょうねんをえがく。

K913ヤ 『タヌキのきょうしつ』
山下明生/作
長谷川義史/絵 あかね書房
こうていのコガネモチのねもとにすんでいるタヌキたちは、ニンゲンのこどものようにべんきょうがしたくなりました。そこで、よるのきょうしつをかりてじゅぎょうをはじめますが…。ひろしまのときのながれをタヌキたちといっしょにみつめる、ころろあたままるものがたり。

Eナ 『ながーい5ふん みじかい5ふん』
リス・ガートン・スキャンロン/文
オードリー・ヴァーニック/文
オリヴィエ・タレック/絵
木坂涼/訳 光村教育図書
じゅんぱんまちの5ふんはながいけど、ぜつきょうマシンの5ふんはいっしゅん。かんじるじかんのながさは、とけいのじかんとぜんぜんちがう！5ふんはながい？みじかい？じかんのおもしろさにふれるえほん。

《 小学校 中学年（3・4年生）の部 》



K913マ 『青いあいつがやってきた!?!』
松井ラフ/作 大野八生/絵
文研出版

あしたはせっかくの土曜日なのに、ひとりぼっち。つまらないな。転校したばかりの4年生のサトシが、部屋のまどから星空を見あげていると流れ星が。翌朝、全身青いへんなやつが現れて…。

K933シ 『ねこと王さま』
ニック・シャラット/作・絵
市田泉/訳 徳間書店

ある日、ドラゴンのせいで、お城がもえてしまった王さまは、いちばんのともだちのねこといっしょに、町へ引っこして、小さな家にくらすことになりました。けれど王さまは、「王さまのしごと」のほかには、何もできなくて…。

Eホ 『ポリぶくろ、1まい、すてた』
ミランダ・ポール/文
エリザベス・ズーノン/絵
藤田千枝/訳 さ・え・ら書房

アフリカのガンビアの小さな村で、アイサトという女の子が破れたポリ袋を地面に捨てました。やがてゴミは2枚に、10枚に、ついには100枚に。ゴミの山に気づいたアイサトは、自分たちでなんとかしようと立ち上がり…。

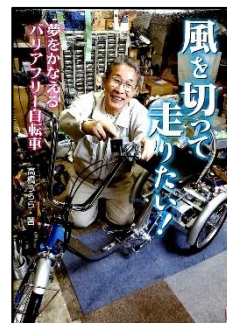
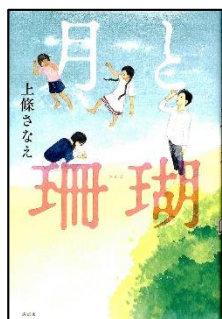
K40 『北極と南極の「へえ〜」くらべてわかる地球のこと』
中山由美/文・写真
秋草愛/絵 学研プラス

北極と南極、より寒いのはどっち？女性で初めて記者として南極観測越冬隊に参加し、その後北極と南極の両方を何度も取材してきた著者が、北極と南極のちがいや、そこから見えてくる地球環境の変化などを紹介する。

第66回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

江南市立図書館では、少しでも多くの人に読んでいただくために、6月1日から8月31日まで課題図書の貸出は1週間のみとなります。延長はできません。ご協力をお願いいたします。

《 小学校高学年（5・6年生）の部 》 ※貸出中のときは、予約をしてお待ちください。



E16 『ヒロシマ消えたかぞく』
指田和／著 鈴木六郎／写真
ポプラ社

あの日ヒロシマに落とされた原子爆弾が、にぎやかに暮らす鈴木六郎さん一家を消し去った。愛情あふれる家族写真の数々から、何気ない日常こそが大事であると感じかされる。家族で平和を考えるために最適の写真絵本。

K913カ 『月と珊瑚』
上條さなえ／著 講談社

勉強ができない沖縄の少女・珊瑚のクラスに、「ベルサイユのばら」のオスカルみたいな転校生・月（るな）がやってきた…。珊瑚の日記を通して、沖縄の「今」を生きる少女たちの日常を描く。

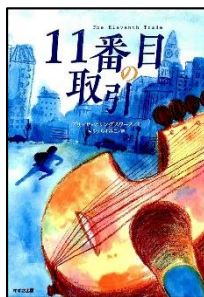
K973フ 『飛ぶための百歩』
ジュゼッパ・フェスタ／作
杉本あり／訳 岩崎書店

まめふく／イラスト
ぼくはもう子供じゃないんだ。中学を卒業したばかりのルーチョは、ただ「目が見えない」からって周りに差し伸べられる手は好きになれなくて…。盲目の少年の葛藤と成長を描く。

K536 『風を切って走りたい!』
高橋うらら／著 金の星社

子どものころから物作りが大好きだった堀田健一さん。ある偶然の出来事から、世界に一つの自転車作りが始まり…。体の不自由な人のため、40年間で2600台もの自転車を作り続けてきた堀田さんの挑戦を描く。

《 中学校の部 》



K913イ 『天使のにもつ』
いとうみく／著 丹下京子／絵
童心社

保育園を職場体験先に選んだ中学2年の風汰。「なんだって、こんなとこ選んじゃったんだろう」と、保育園の看板に目をやって、ため息をついたこともあったが…。風汰の5日間の物語。

K933ホ 『11番目の取引』
アリッサ・ホリングスワース／作
もりうちすみこ／訳 鈴木出版

アフガニスタン難民のサミと祖父の生きる術であり、心の拠り所だった伝統楽器ルバブが奪われた。買い戻すには1か月以内に700ドルが必要だ。サミは友だちの助けを借りて物々交換を始めるが…。希望と友情の物語。

K31 『平和のバトン』
弓匠医純／著 くもん出版

被爆体験証言者の記憶を、1年をかけて油絵に描いて記録する、広島の高校のプロジェクト。今を生きる高校生たちが、証言者と密に接することで、戦争や原爆を見つめなおしていくさまを綿密に取材して描いたノンフィクション。

第66回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

江南市立図書館では、少しでも多くの方に読んでいただくために、6月1日から8月31日まで課題図書の貸出は1週間のみとなります。延長はできません。ご協力をお願いいたします。

《 高等学校の部 》



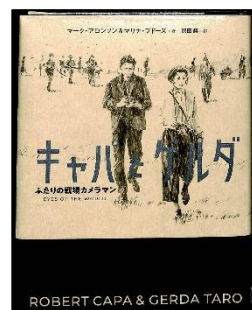
913 ヤ 『廉太郎ノオト』
谷津矢車／著 中央公論新社

頭のなかに、いつも鳴り響いている音がある。廉太郎は東京音楽学校で才能を開花させ、新しい時代の音楽を夢みるが…。歴史小説の俊英が描く、夭折の天才音楽家・瀧廉太郎の青春物語。



K933 モ 『フラミンゴボーイ』
マイケル・モーパーゴ／作
杉田七重／訳 小学館

ナチスが侵攻してきたフランスで、何が起きたのか。フランスの南部、フラミンゴの生息地カマルグを舞台にした、フラミンゴと話ができる不思議な力を持つ少年とロマの少女の切ないけれど優しい物語。



740 『キャパとゲルダ』
マーク・アロンソン／著
マリナ・ブドーズ／著
原田勝／訳 あすなろ書房

激動の1930年代、スペイン内戦を世界に伝えた2人のカメラマン、ロバート・キャパとゲルダ・タロー。夢と理想に燃え、カメラを武器に革命に身を投じた、若き2人の青春の物語。

★昨年以前の課題図書も「こども特設コーナー」にあります。

貸出中のときは、予約をしてお待ちください。